

平成23年度 北海道新エンジンシステム研究会 第三回講演会 議事録

日 時

10月15日(土): 14時 現地集合

15時00分～17時00分 講演会

18時～夕食・懇談会

10月16日(日): 8時 起床

8時30分～朝食

9時30分～清掃, 後片付け

10時現地解散

場 所

北海道工業大学芦原ニセコ山荘

北海道虻田郡ニセコ町字曾我 598 番地 TEL: 0136-44-1031

講演題目・講師

1. 「プラズマによる自着火促進効果の数値シミュレーション」

日本工業大学 機械工学科 中野 道王 准教授

2. 「ディーゼルエンジンのさらなる向上の可能性」

北海道大学大学院 工学研究科 小川 英之 教授

参加人数

16名

講演概要

恒例の合宿講演会をニセコ山荘にて開催した。自動車技術会秋季大会の開催に合わせて実施したおかげで、帝京大学の森先生や石巻専修大学の川島先生など、遠方からもご参加頂いた。

中野先生のご講演では、燃料の着火性をその分子構造から解説され、また、プラズマの着火促進効果には酸素の存在と温度が影響することなどを紹介された。

小川先生のご講演では、ディーゼルエンジンの熱効率向上には高温燃焼よりもむしろ低温燃焼の方が効果的であることを高過給と高EGRとの組み合わせの観点から解説された。

以上